

IV受賞結果

平成 26 年度工学部ティーチングアワード（優秀教育者表彰者）

第 14 回工学部ティーチングアワードの受賞科目ならびに受賞者を以下に記す。

表 第 14 回工学部ティーチングアワードの受賞科目ならびに受賞者

学科	科目名	受賞者
物質生命化学科	「定性分析実験」 1年／必修	鯉沼陸央 准教授 吉本惣一郎 准教授 谷口貴章 助教 佐藤徹哉 技術職員
マテリアル工学科	「腐食と電気化学」 2年／必修	山崎倫昭准教授
	「工学英語」 3年／必修	Craig Armstrong 非常勤講師
機械システム工学科	「コンピュータサイエンス入門」 1年／必修	宗像瑞恵 准教授
	「機械製図および CAD 演習」 1年／必修	佐田富道雄 教授
社会環境工学科	「流体の力学」 2年／必修	山田文彦 教授
	「構造の力学応用」 2年／必修	葛西 昭 准教授
建築学科	「建築環境工学演習」 3年／自由選択	矢野 隆 教授 川井敬二 准教授 長谷川 麻子 准教授 高田真人 助教
	「建築設計演習第四」 3年／必修	桂 英昭 准教授
情報電気電子工学科	「基礎数学演習 第一（B組）」 1年／必修	末吉哲郎 助教
	「電磁波工学」 3年／自由選択	奥野洋一 名誉教授
	「量子力学」 3年／自由選択	中村有水 教授
	「工学英語 I」 3年／必修	Jeffrey Morrow 非常勤講師
数理工学科	「統計科学第二」 3年/選択必修	高田佳和 教授

3) 第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会の実施

第 14 回 優秀教育者表彰式にあわせて、第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会を開催した。授業内容と工夫に関する受賞者の先生方の講演の後、機械システム工学科、情報電気電子工学科の学生による、学生の立場からの授業改善への要望や意見についてのプレゼンテーションがあり、その発表内容をもとに、学生、教員間での意見交換を行った。

以下に、第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会の講演者を記す。

日時： 平成 27 年 4 月 24 日（金）12 時 50 分～15 時 30 分

場所： 工学部百周年記念館

主催： 熊本大学工学部授業改善・FD 委員会

参加者： 35 名

表 第18回 学生・教員相互触発型授業の検討会での講演者

学科	科目名	講演者
物質生命化学科	「定性分析実験」 1年／必修	鯉沼 陸央 准教授
マテリアル工学科	「腐食と電気化学」 2年／必修	山崎 倫昭 准教授
機械システム工学科	「機械製図およびCAD演習」 1年／必修	佐田富 道雄 教授
建築学科	「建築環境工学演習」 3年／自由選択	川井 敬二 准教授
	「建築設計演習第四」 3年／必修	桂 英昭 准教授
情報電気電子工学科	「基礎数学演習 第一 (B組)」 1年／必修	末吉 哲郎 助教
数理工学科	「統計科学第二」 3年/選択必修	高田 佳和 教授
機械システム工学科	学生 4年	西岡 大輝 氏
情報電気電子工学科	学生 4年	松崎 貴之 氏

(2) FD 特別講演会の実施

以下の2つのFD講演会特別講演会を実施した。

1. 平成26年度第1回自然科学研究科・理学部・工学部FD講演会

主催:自然科学研究科・理学部・工学部FD委員会

日時:平成26年8月26日(火)12:50～14:20

会場:工学部1号館2階共用会議室A

対象者:大学院自然科学研究科教職員、学生

参加者:35名

タイトル:クリエイティブ・マインドセット ～市場をつくる～

講師:瀬戸英昭氏(熊本大学イノベーション推進機構 特任教授)

講演概要:

今日、理工系博士人材(修士と博士)の育成は、我が国にとって大変重要であるとされており、今後 の我が国の産業界を活性化するために不可欠であると言えます。このような現状を鑑み、専門性を高める教育に加えて、「ものの考え方」、「マネジメント力」、「イノベーション力」といった分野を横断する教育の重要性について考えてみたいと思い、現在熊本大学イノベーション推進人材育成センターに在籍されている 瀬戸英昭先生に、上記のような教育内容およびプログラムの必要性についてご講演頂いた。

2. 平成26年度第2回自然科学研究科・工学部・理学部FD講演会

主催:自然科学研究科・工学部・理学部FD委員会

日時:平成26年9月12日(金)10:30～11:50

会場:工学部1号館2階共用会議室A

対象者:大学院自然科学研究科教職員、学生(含、平成26年度5大学連携教育シンポジウム参加者)

参加者:71名

タイトル:「コーチング導入の試み～社会環境工学科の取り組み～」

講師:椋木俊文氏(熊本大学大学院自然科学研究科 准教授)